

小P連だより

発行日：令和7年3月10日

発行者：令和6年度立川市立小学校PTA連合会

会長 森 雄介

事務局 新生小学校PTA

会長より

立川市立小学校PTA連合会会長 森 雄介

日頃より、小学校PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

限られた時間の中で、意義のある活動を効率よく行えるよう配慮し、一年間取り組んでまいりました。特に、「小中PTA会長合同研修会」「教育委員懇談会」「教育部課長懇談会」は大きな活動の一つとして位置付けられます。保護者の皆さまからの意見や要望がすぐに解決するわけではありませんが、立川市内の小学校同士で情報を共有しながら継続的に発信し、見守り続けることが重要であると考えております。また、立川市の小学校教諭が勤務先の児童に対してわいせつ行為を行い逮捕された事件を受け、本年度はこれらの会合に加え、新たに児童および生徒の安全と安心を確保するための議論の場を、教育委員会と小学校および中学校PTA連合会で継続的に設置することを提案し、今年度中に意見交換会を実現する運びとなりました。今後も、未来を担う「たちかわっ子」のため、立川市役所や教育委員会の皆様と意見交換を重ねていきたいと考えております。

本年度は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で「運営委員会」「小中PTA会長合同研修会」「教育部課長懇談会」「教育委員懇談会」を実施しました。新たに導入したノートPCやスピーカー・マイクを活用することで、会議内での資料共有やスムーズな進行が可能となりました。本誌を通じて、私たちの活動内容を発信することで、小P連の取り組みについて少しでも多くの方に知っていただき、関心を持っていただければ幸いです。

最後に、小P連の活動にご理解とご協力を賜りました各小学校の会長・担当役員・事務局の皆様に、心より感謝申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。

会長校校長より

立川市立新生小学校 校長 千葉 貴樹

小学校PTA連合会の会員の皆さまにおかれましては、日頃から市立小学校の教育活動にご理解とご協力、そしてご支援を賜り、誠にありがとうございます。

各校の学校経営方針に即した、特色ある様々な取組を支えていただいたことに、校長会を代表しまして、改めて感謝をいたします。

さて、今年度の連合会では、運営委員会等の会議の持ち方や資料共有の仕方を工夫して、より効率的効果的に諸活動を進めてこられました。これからも引き続き、会員の皆様が活動しやすい環境を整えて、無理なく可能な範囲で地道な取組を続けていくことが、子どもたちのために大切なことであると考えております。

本校では、例年行っている連携行事をPTAの方々と相談しながら、少しずつ改善・充実を図ってまいりました。各学校のPTA活動も発想豊かに創意工夫を凝らして進められていることと存じます。

ご尽力いただいた役員の方々をはじめ、各校のPTAの皆様に敬意を表するとともに、連合会のさらなる発展をご祈念申し上げ、会長校校長としてのあいさつとさせていただきます。

～令和6年度活動報告～

今年度も一年を通し様々な活動を行ってきましたが、主な活動について以下報告いたします。

★総会★

総会は書面にて開催しました。令和5年度の事業・決算報告の後、令和6年度の事業案・予算案が承認されました。会長校・事務局の負担軽減のため、これからも書面での開催を予定しています。

★小中PTA会長研修会★ 6月29日(土) RISURUホール 5F 第一会議室

小学校・中学校の単P会長、代表者が集まる研修会を実施しました。事前に実施したアンケートをもとに各校の現状の共有や、PTAの存在意義、運営方法、活動上の疑問等について意見交換を行いました。昨年度の研修会后、学校と保護者との連絡方法について「他校で使用しているツール」を学校側に提示し、改善された例もあります。情報共有をすることで、単Pから学校へ働きかけるきっかけになれば、と思います。

★教育部課長懇談会★ 7月25日(木) 立川市役所 101会議室

この会は教育行政の立場と保護者の立場の意見・情報交換を目的としたもので、毎年開催されています。今年度は、①学校と保護者との連絡方法など（電子化）、②教育内容の充実（海外交流、魅力ある授業など）、③PTAに期待すること...をテーマに意見交換をさせていただいたうえで、重点要望事項として「くるブレ」の運用の柔軟化と電子化の推進についてお伝えしました。「これは対話の機会があったからこそ」だなぁ...という情報もあり（「立川市民科」って、行政的には超目玉な取り組みとして位置づいている...など）、限られた範囲ではありますが、コミュニケーションの機会をもつことの意味を感じられる会でした。

★教育委員懇談会★ 10月16日(水) 立川市役所 302会議室

立川市の教育委員の皆様と各校PTA会長との懇談会を行いました。事前にテーマを検討し、PTAの現状と課題、教育環境の現状と課題、電子化の推進等について、意見交換を行いました。

当日は、PTAの存在意義など、小P連としてこれまで研修会や部課長懇談会を通して議論してきたことを紹介し、それを踏まえた意見交換を行いました。PTAは、「学校と共に子どもを支える」という大事な役割を担っているものの、その大事さを保護者に伝えきれていない点に課題があることなどを再認識できました。また、各校の保護者間で話題になっていること、教育環境に感じていることなど、保護者の声を直接届けることもできました。

★安全・安心な教育環境づくりのための意見交換会★

2月27日(木) 立川市役所 302会議室

この会は、市から教育長、教育部長、指導課長が、保護者からは小学校PTA連合会および中学校PTA連合会の各校PTA会長が参加して実施されました。行政と保護者がそれぞれの立場から何ができるかについて意見を交わし、今後も継続的に実施していくことを提案しました。

★関係団体への派遣報告★

● 立川市通学路等安全推進会議

12月17日(火) 10:00～11:00、市役所にて開催された会議に小P連の代表として参加してきました。この会議は、通学路の安全を維持向上させていくために、監視カメラや道路標識、看板設置や道路塗装など、おもに設備の設置や補修が必要な箇所などを明らかにし、対策を決め、進捗を確認する場でした。過去の通学路点検などで対策が必要と判断された箇所について、着実に市が対策を取ってくれていることを確認できました。スクールゾーンの設置などについては住民などとの調整もあり、とてもご苦労されているようです。また、もともとの道路の構造などから、子どもたちを危険から守るためには設備面の対策だけでは不安が残る場所などがあることもわかりました。市、保護者、地域の方と連携しながら、通学路の安全確保に取り組んでいく必要があると感じました。市も、ホームページなどで危険箇所や対策実施状況を公開してくれているので、ぜひ活用していきたいと思います。（三小：久保田 博）

● 立川市学校保健会 理事会

「学校、家庭、行政が連携を密にし、それぞれの立場から児童・生徒の心と体の健康づくりを支援し、推進する」という重点目標のもと開催された学校保健会の理事会に参加しました。会議では、健康観の啓発や健康教育の推進、各種疾病の予防や治療、さらに学校環境衛生の改善について議論が行われました。私自身も情報収集に努めるとともに、保護者の立場から意見を積極的に発信し、議論に貢献しました。次年度も引き続き参加を継続し、保護者の視点を共有することで学校保健活動のさらなる充実に役立てていきたいと考えています。（新生小：森 雄介・一小：名取 雄太）

● 立川市学校保健会 健康診断委員会

令和7年1月30日、立川市学校保健会「健康診断委員会」が開催され、小P連からも1名参加しました。校医や養護教諭の方達などが参加しており、健康診断のこと（例えば着衣の課題など）だけでなく、就学時健康診断の現状や課題、罹患・治癒証明書の運用についてなどの議論がされました。印象的だったのは、どういつきに罹患・治癒証明書が必要になるか...について学校と保護者の認識がズレている（保護者から学校への）クレームになっていることがあるということ、そのことをしっかり課題として認識して、「どうすればそうならないか」が丁寧に議論されていることでした。何点か保護者の立場から...ということで発言をさせていただき、事務局の方からは、専門職だけで議論していると出てこない観点もあるので、引き続きご参加いただけたらありがたい...とのコメントをいただきました。（二小：山本 賢司）

- **立川市交通安全運動推進協力委員会**

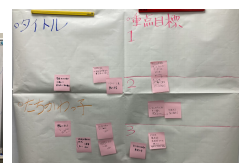
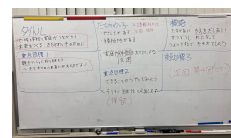
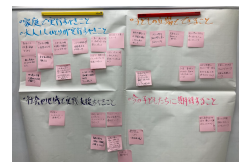
6月28日（金）14:15～15:15に市役所にて会議が行われました。市長を委員長としたこの委員会は、立川市における交通安全に対する意識向上のための勉強会やイベント開催を推進していくために、行政と地域各種団体が連携協力を推進していくための活動です。小学校で関連するものは、自転車免許検定です。本会議にいままでと同様に、各小学校における自転車講習および免許証の発行について実施することになりました。小P連の代表として、「子どもたちは自転車免許検定の経験もあり、気を付けて自転車に乗っている。危険なのは、朝など通学路を猛スピードで走っている大人である。ぜひ、大人に向けての情報発信、啓蒙活動を推進して欲しい。」と意見しました。また、立川市の歩道の規制が変わったことが立川警察から説明がありました。ほとんどの歩道で、「歩行者優先」の標識が撤去されています。小学生未満を除いて、自転車で歩道を通行することは禁止されました。このことについても市民への周知徹底を依頼しました。登下校時、自動車も危険ですが、自転車も危険です。ぜひ、子どもと一緒に改めて登下校のときに気を付けることや、自転車の使い方について会話して頂きたいと思います。（三小：久保田 博）

- **立川市青少年問題協議会**

第1回開催に参加。市長を交えて大きな長方形型に机を並べて、全員顔が見える形で対面自己紹介。それぞれの分野からかなり多くの参加者が集まり、各分野から立川市の青少年の今について語っていく方式。小P連代表として、子どもたちの現状や変わりゆくPTAの姿や、平日頃会議にて現れる熱いpassion（パッション）を熱弁。会場に賛同や温かな笑いも起き、市長からもコメント、その流れに乗り、控えめに名前だけ名乗り着席した隣席の中P連会長にも、「素晴らしいんです、中Pさんも、ね!」と振ると、笑顔で、「えー、中Pではですね...」と巻き込み、素晴らしい熱弁が始まる。一連の小中P連のパッションに会場賛同してもらえ、拍手に心が熱くなった。ここに集まったdestiny（ディスティニー）、これからは立川市の青少年を紛れもないリアル保護者である小P連の立場から見守り、現状を伝え、さまざまな団体と共有、議論していく場として使命感と責任感とパッションを持ち参加していきたい。
今回は自己紹介中心だったが、第2回の展開が非常に楽しみ。（七小：小松原 萌子）

- **立川市青少年健全育成市民行動方針策定専門委員会**

本委員会では、立川市青少年健全育成市民行動方針の見直しおよび策定を行いました。今回の見直しは7年ぶりであり、その間に变化した子どもたちを取り巻く環境に対応する形で改訂が進められました。見直しの進め方としては、ワークショップを開催し、「家庭で実行すべきこと」や「社会・地域で実践すべきこと」などのテーマに沿って、委員たちが付箋紙に意見や感じていること、アイデアなどをふせんに書き出し、それらを整理・共有する形で議論を深めました。より良いメッセージを届けるため、委員全員が意見を出し合い、活発な議論を重ねた結果、全員が納得できる内容に仕上がったと考えています。全5回の委員会を経て新たな行動方針が策定されましたが、これからは実際の行動を通じてこの方針を地域に根付かせていきたいと思っています。（新生小：森 雄介）



【参考】本委員会の議事録が掲載されている市のHPリンク先を右に添付します。

[<Web Link>](#)



- **立川市中学生の主張大会実行委員会**

本実行委員会では、小P連メンバーが団体審査員として参加するため、開催要項やスケジュール、審査方法について理解を深め、小P連メンバーへ周知を図りました。また、キャッチコピーや大会プログラムの表紙イラストを選出するための投票にも参加しました。主張大会終了後の最後の会議では、次回大会がより充実したものとなることを願い、要望や意見を伝えました。（新生小：森 雄介）

- **立川市中学生の主張大会団体審査員**

本大会には、例年、小P連を通じて各小学校から一名の審査員の派遣を依頼されており、今回も参加いたしました。参加して感じたことは、発表した中学生が大人を含む周囲の人々としっかりとコミュニケーションを取れている点が非常に立派だったということです。さらに、文章作成能力も素晴らしく、こちらが見習いたいほどでした。ぜひ、今後のさらなる飛躍を期待したいと思います。（西砂小：星野 佑光）

【参考】大会の情報が掲載されている市のHPリンク先を右に添付します。

[<Web Link>](#)



- **立川市放課後子ども教室推進事業代表者会議**

各小学校の放課後こども教室、くるプレの代表者が集まり現況報告、情報の共有を行うための会議です。くるプレは学童に通っている児童は登録できません。今まで利用していた児童のも利用できるようにくるプレ・学童共催企画の実施についての提案、情報共有、意見交換が行われました。児童、保護者にとって「安心・安全な放課後の子どもの居場所」の一つとなるよう、意見交換ができればよいと感じました。（上砂川小：草間 由香里）

● 立川市第4次学校教育進行基本計画検討委員会

『立川市第4次学校教育振興基本計画』とは、令和7年度以降の5年間を見据えた計画的、長期的な視野に立った立川市の学校教育が目指す基本的・総合的な方向性を定め、それを実現するための基本施策や取組事業を示す計画のことで、簡単に説明すると、令和7年度から5年間、立川市の学校教育をどのように進めていくかというものです。検討委員会は全部で5回開催され、毎回計画案の内容を委員全員で「この部分はこうしたほうがいいのでは?」「ここはもっとわかりやすい文章にでは?」などの白熱した意見交換が行われました。立川市第4次学校教育振興基本計画検討委員会については市のホームページに掲載されていますので、機会がありましたらご覧ください。また、『立川市第4次学校教育振興基本計画』はパブリックコメントの募集を予定しています。(六小:藤畑 志保)

【参考】本委員会の資料や議事録が掲載されている市のHPリンク先を右に添付します。

[<Web Link>](#)



● 立川市第4次特別支援教育実施計画策定検討委員会

全4回の会議に出席させていただきました。本委員会は、第六小の藤畑会長が担当された「第4次学校教育振興基本計画」の方向性を受けて、特別支援教育を実施するための計画と位置付けられています。立川市としては、特別支援教育に関連する計画や東京都の計画に留意するとともに、途切れのない相談・支援体制を強化し取組みの方向や目標を定め、基本施策、取組項目を示す計画として策定されています。これは立川市の特長となっています。本委員会では、市の学校関係者や専門家、市の公募による委員をメンバーとして今後の立川市における特別支援教育について、これまでの状況や問題点、課題など様々な資料を基に議論いたしました。

私事ですが、我が子も特別支援学級「キラリ」を利用するなど、本委員会との関わりが深く、拙い私見ではありますが意見を述べさせていただきました。本委員会で議論された内容は計画素案として纏められ、教育委員会定例会、庁議、文教委員会で報告された上で、4~5月頃にパブリックコメントが実施されます。ご興味がある方は、コメントしてみたいはいかがでしょうか?(大山小:堀田 康雄)

【参考】本委員会の資料や議事録が掲載されている市のHPリンク先を右に添付します。

[<Web Link>](#)



★役員会★ 年6回 オンライン会議

今年度の小P連の体制は、会長を新生小、副会長は一小、理事校は二小、西砂小、大山小、会計監査が三小、上砂川小のそれぞれのPTA会長が担当し、事務局は新生小のPTA役員が担当となっております。4月2日に上砂川小にて前年度の役員と今年度の役員による顔合わせと引き継ぎの会議が行われました。その後の役員会では、小中PTA会長研修会、立川市の教育部課長懇談会や教育委員懇談会といった大きな会合に向けて、5/10、6/14、9/6、10/4の18:30から2時間、ときには3時間におよぶ会議を行い、会合の目的や内容の検討、事前準備などの分担、確認など、各校の課題を解決し、市との連携を深めていくための議論を行いました。各校PTAが小P連という共同体を通じて、市とつながっていることにより、子どもたちを安心安全に学校に通わせ、市と地域と保護者が一体となってよりよい教育を子どもたちに提供できるということを実感することが出来ました。

★運営委員会★ 年4回 女性総合センターアイム・オンラインでのハイブリット会議

立川市立15校の小学校のPTA会長・小P連担当役員が集まり、小P連が行う事業内容や各校PTAで抱える問題などを話し合いました。以下写真左は運営委員会の様子です。女性総合センターアイムの会議室にて対面で開催している委員、オンラインで参加している委員がいます。また、以下写真右ワイヤレスマイク&スピーカー、パソコンケース、マウスを購入し、様々な会議に活用しました。



以上